

新・斜面崩壊防止工事の設計と実例－急傾斜地崩壊防止工事技術指針－正誤表

一般社団法人全国治水砂防協会が出版いたしました「新・斜面崩壊防止工事の設計と実例－急傾斜地崩壊防止工事技術指針－」の平成19年9月20日発行の改訂版及び平成21年10月15日発行の再版に対する正誤表を掲載しております。

ご購入の皆様には、多大なご迷惑をおかけし、誠に申し訳ございません。出版に当たり十分に点検をしておりますが、記載内容についてお問い合わせは(一社)全国治水砂防協会公益事業部にお問い合わせいたします。

新・斜面崩壊防止工事の設計と実例－急傾斜地崩壊防止工事技術指針－(平成19年9月20日 改訂版)

正誤表 (平成26年9月12日現在)

| 頁 | 行 | 誤 | 正 |
|-------|----|---|---|
| (本編) | | | |
| 204 | 2 | $\phi = \sqrt{15 * N + 15} \quad N > 5$ | $\phi = \sqrt{15 * N} + 15 \quad N > 5$ |
| 233 | 1 | なりかねないので、十分な注意が必要である。 | <u>ポケット容量を確保するための地山の無理な切土は崩壊発生の可能性を増大させることにもなりかねないので、十分な注意が必要である。</u> |
| 233 | 5 | 電力式コンクリート | 重力式コンクリート |
| 233 | 8 | その土質的な性質等を考慮し、 | その土質的な性質等を考慮し、 |
| 奥付 | | FAX 03-3261-5446 | FAX 03-3261-5449 |
| (参考編) | | | |
| 210 | 25 | $T_R = P_R \cdot (\sin \theta + \cos \theta \tan \phi)$ | $T_R = P_R \cdot (\cos \theta + \sin \theta \tan \phi)$ |
| 212 | 8 | のり面に直角に打設26.2° | のり面に直角に打設26.6° |
| 212 | 13 | $P_r = 117.2 \times 1.5 / (\sin 19.4^\circ + \cos 19.4^\circ \times \tan 30^\circ) / 6 = 33.4 \text{KN/本}$ となる。 | $P_r = 117.2 \times 1.5 / (\cos 19.4^\circ + \sin 19.4^\circ \times \tan 30^\circ) / 6 = 25.8 \text{KN/本}$ となる。 |
| 212 | 19 | 59.9 > 33.4となり | 59.9 > 25.8となり |
| 212 | 29 | $P_r = 107.9 \times 1.5 / (\sin 19.4^\circ + \cos 19.4^\circ \times \tan 30^\circ) / 6 = 30.8 \text{KN/本}$ となる。 | $P_r = 107.9 \times 1.5 / (\cos 19.4^\circ + \sin 19.4^\circ \times \tan 30^\circ) / 6 = 23.8 \text{KN/本}$ となる。 |
| 奥付 | | FAX 03-3261-5446 | FAX 03-3261-5449 |

新・斜面崩壊防止工事の設計と実例－急傾斜地崩壊防止工事技術指針－(平成21年10月15日 改訂版)

正誤表 (平成26年9月12日現在)

| 頁 | 行 | 誤 | 正 |
|-------|----|---|---|
| (本編) | | | |
| 204 | 2 | $\phi = \sqrt{15 * N + 15} \quad N > 5$ | $\phi = \sqrt{15 * N} + 15 \quad N > 5$ |
| 290 | 40 | ・・・地形を十分考慮 | ・・・地形を十分考慮して施工する。 |
| (参考編) | | | |
| 297 | | | 削除 (掲載されている会社が現存していない) |